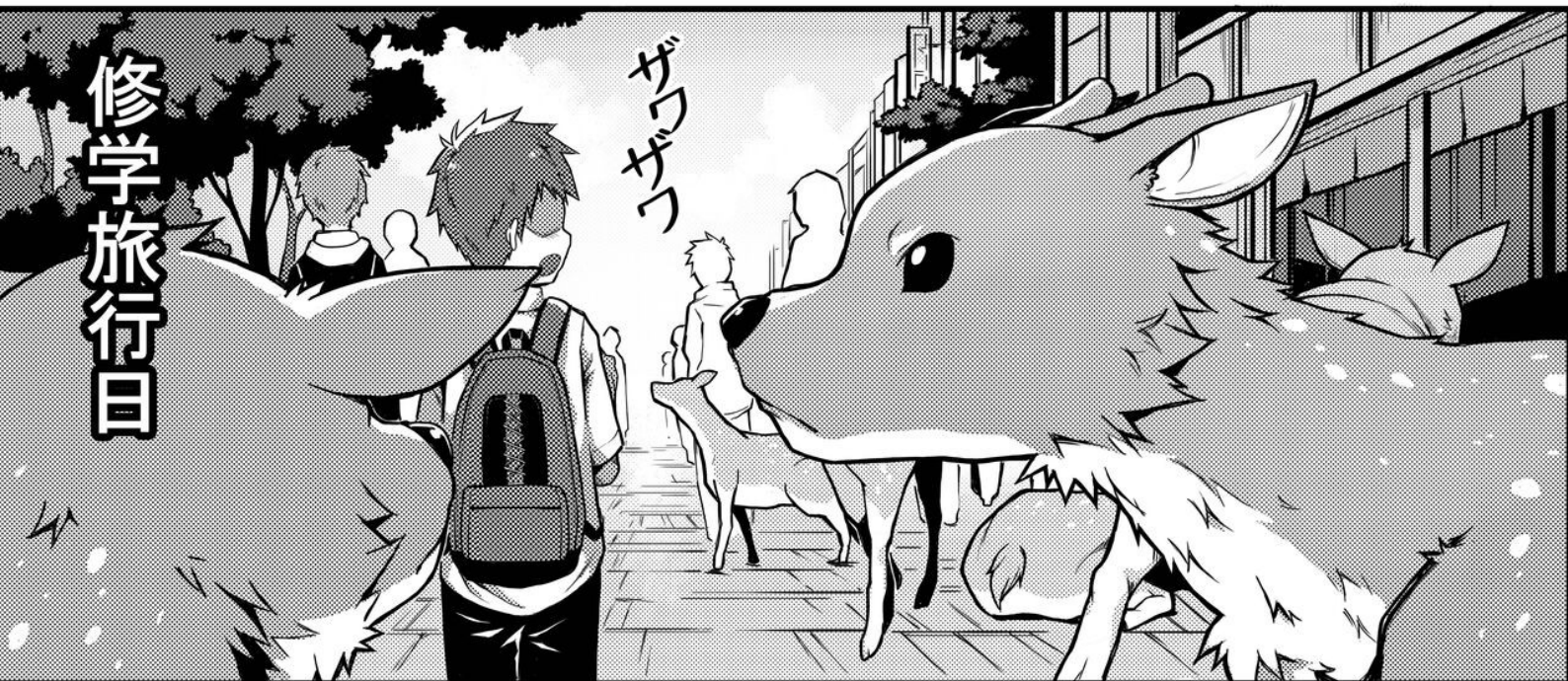
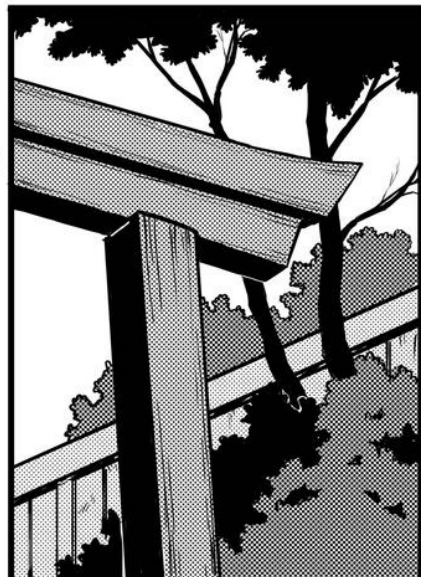


R-18



よろしく、鹿君!

NICE TO MEET YOU, DEER-KUN!





ちよっと
待てー!

あ



ぎゅぎゅり

ガジガジ

一匹
ずっね…



ストップ!

うわー!

ブブブ

ブブブ

く…
来るなり!

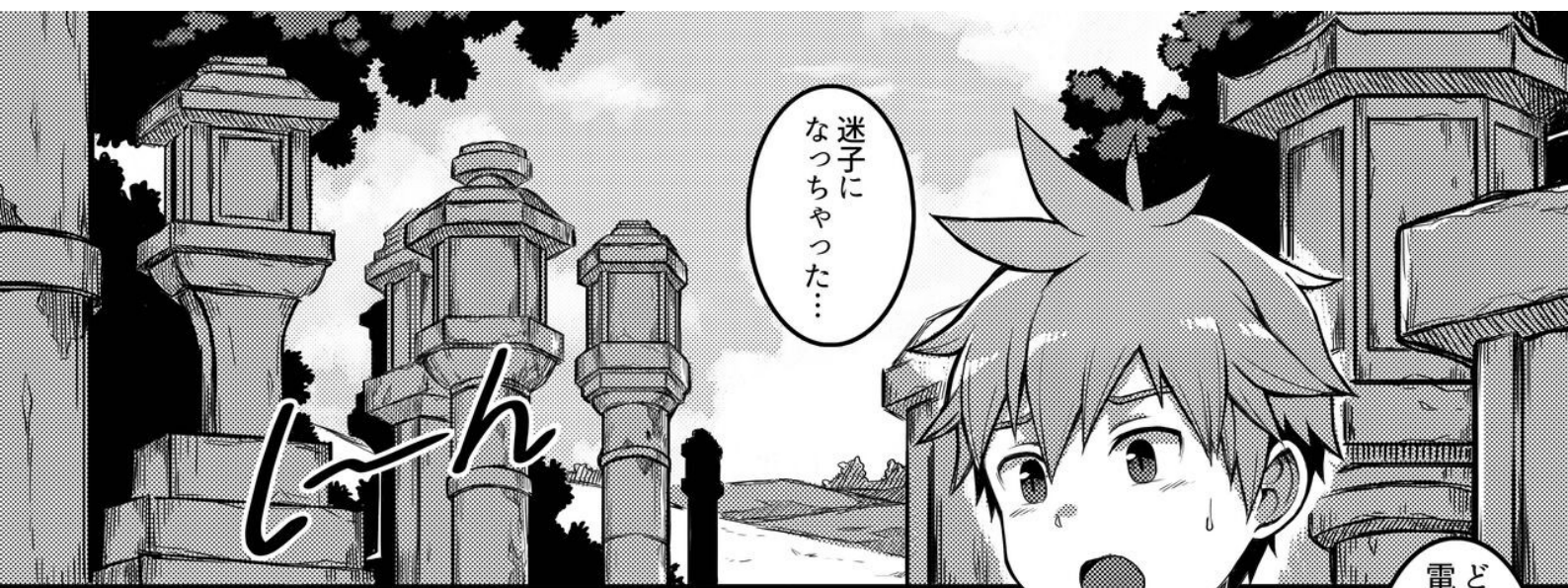


走ったら道に
迷っちゃうよ?

いかにあ

追いかけて
こないで!!

ヤンキー



迷子になっちゃった...

いん

どうしよう...
電波も悪いし...

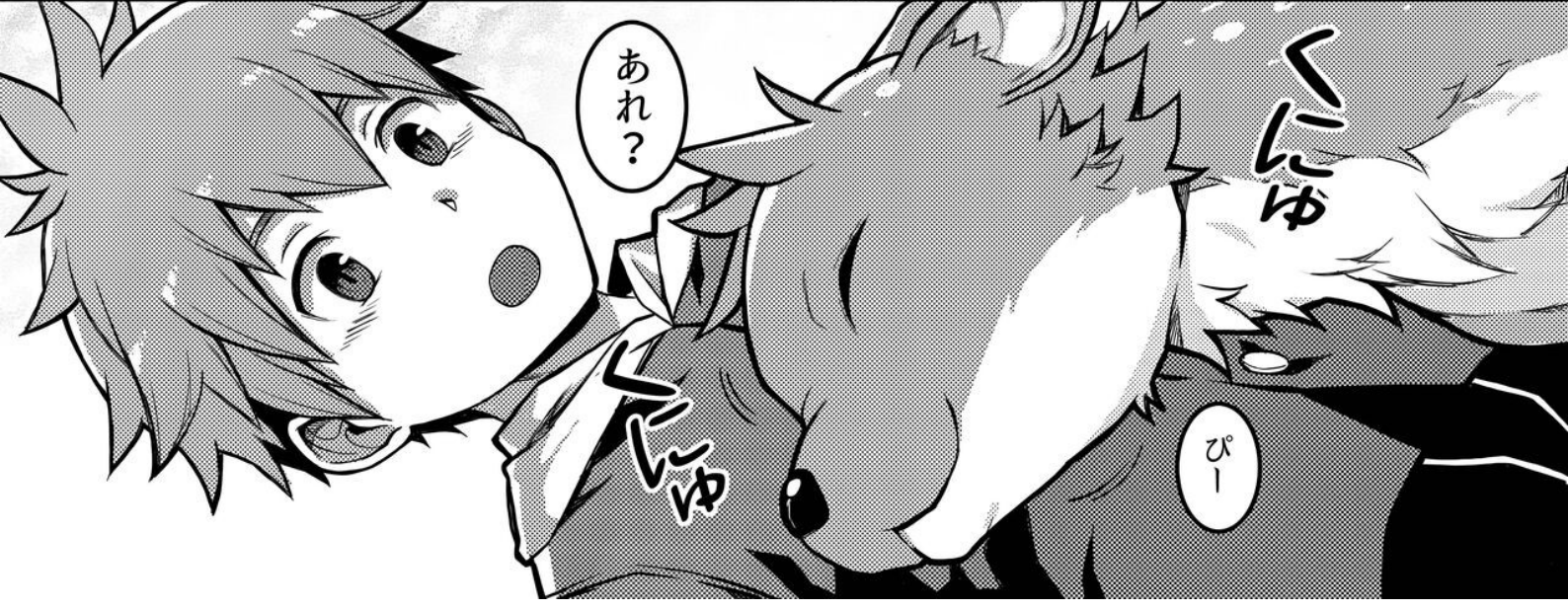


キユン



追いつかれ
ちゃった!!

ビツクッ



あれ?

いん

ぴー

いん



他の奴と違って
お前はいい子
だねー



甘えん坊
だなー!

フニ

あはは



よろしくね

ぼくは
鹿目!

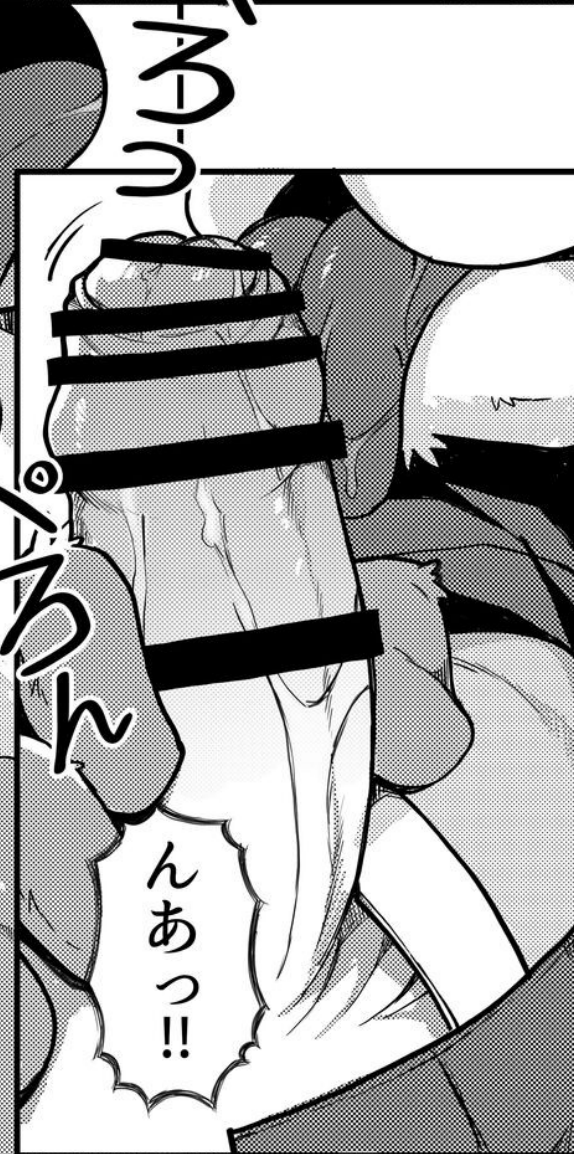


ほら!
最後の一枚!















だだ
ダメ！

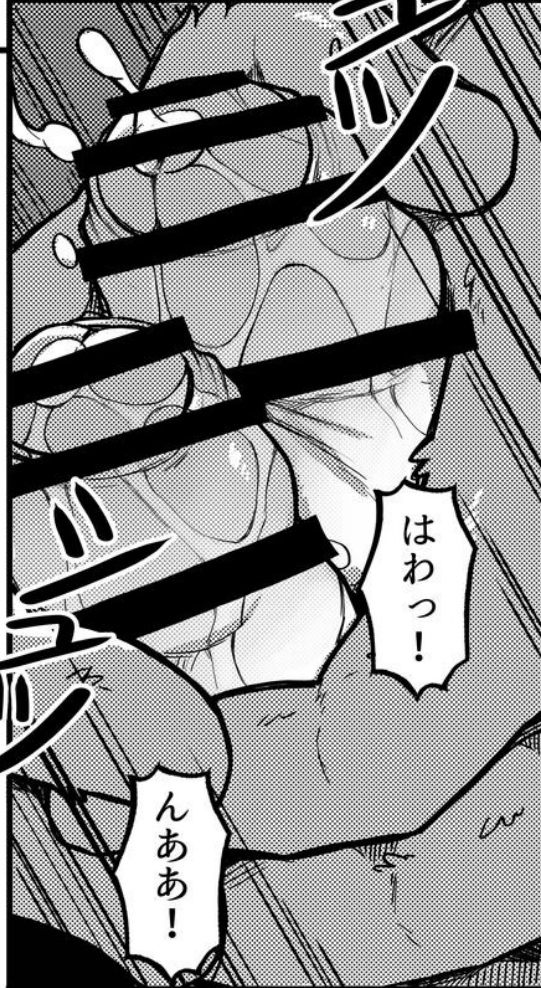
はあ

ああ

はあ



ああ！



はわっ！

んああ！



鹿目！もっと
乱暴にするぞ！



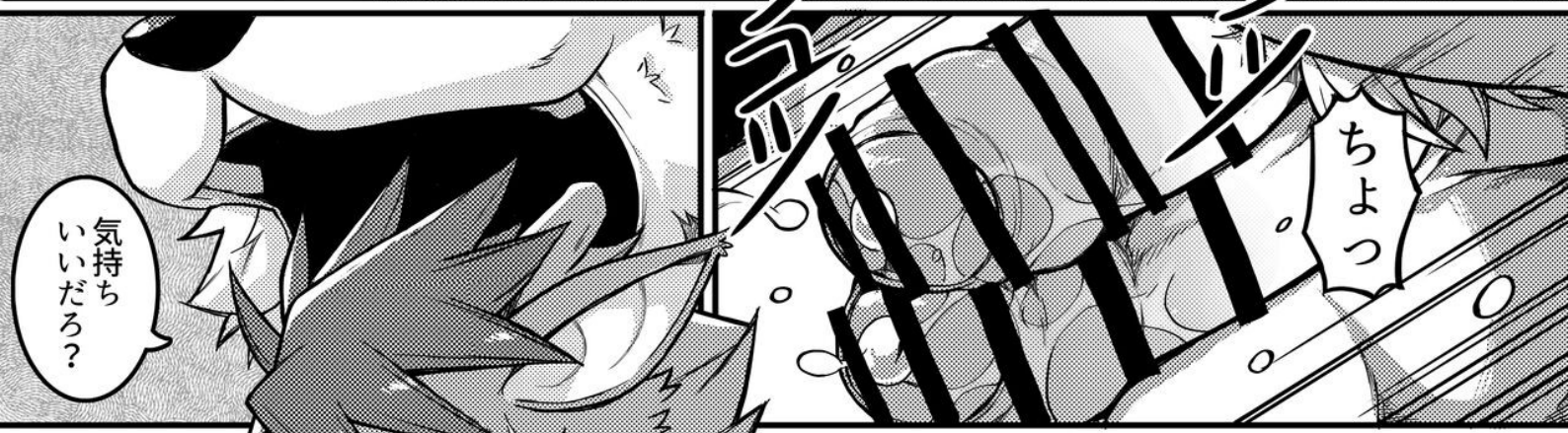
お願い
やめてよ!

ひあつ

んんっ

ああ

しゅっ
しゅっ



気持ち
いいだろ?

ちよっ



鹿くん!

あッ

落ち
着いて!

しゅっ
しゅっ



んああっ!

あれ?
もう限界か?

ああ!



じゅっ
じゅっ

いゃん!

ああ

あっ



はあ
はあ
はあ

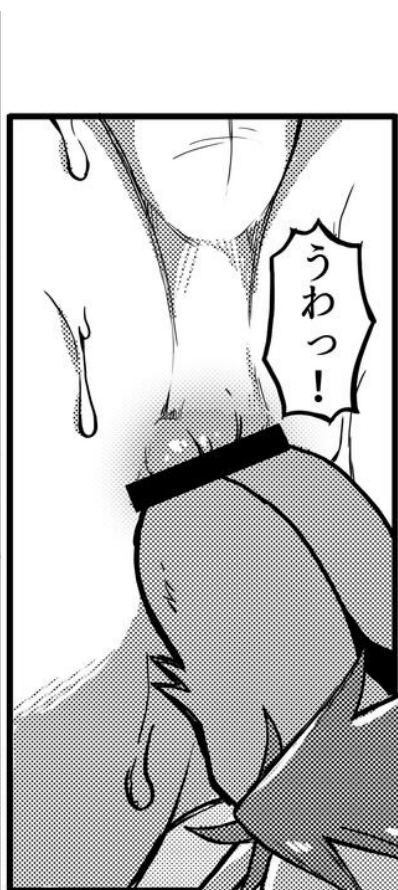
一息休ませて...
ぼくもう...





ほ…ほく！
もう出せないよ！

ああ



うわっ！



だったら
こっちで
続けようか！

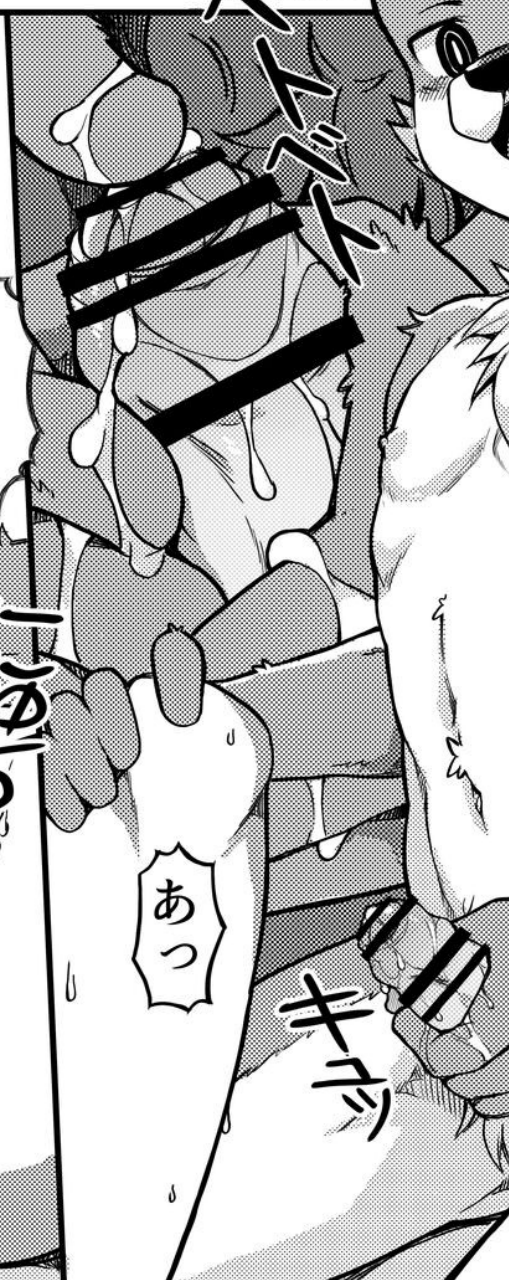
うわっ



待てっ！

にゅ
ちゅ

あっ



キッ



俺…まだ
一度もイッて
ないからさ

鹿くん！



ひゃあ

そっちは...!

駄目だって!

ちゅわん



ずるっ

あんっ

ズルッ



すっ感じる

んんっ



ああ

あっ鹿くん!?

ちゅわん



冗談だよね!

ああっ

こんくらいでよし!



痛い!
やめて!

あッ

うわっ!

グッ
グッ



ああっ



抵抗は無意味だぞ
鹿目:



あんっ

痛っ!

あっ

ここまです
やれば...

あッ

ちゅぽ

ちゅぽ



ああっ

ちゅぽ

ちゅぽ

あっ

あん

ちゅぽ

んああっ



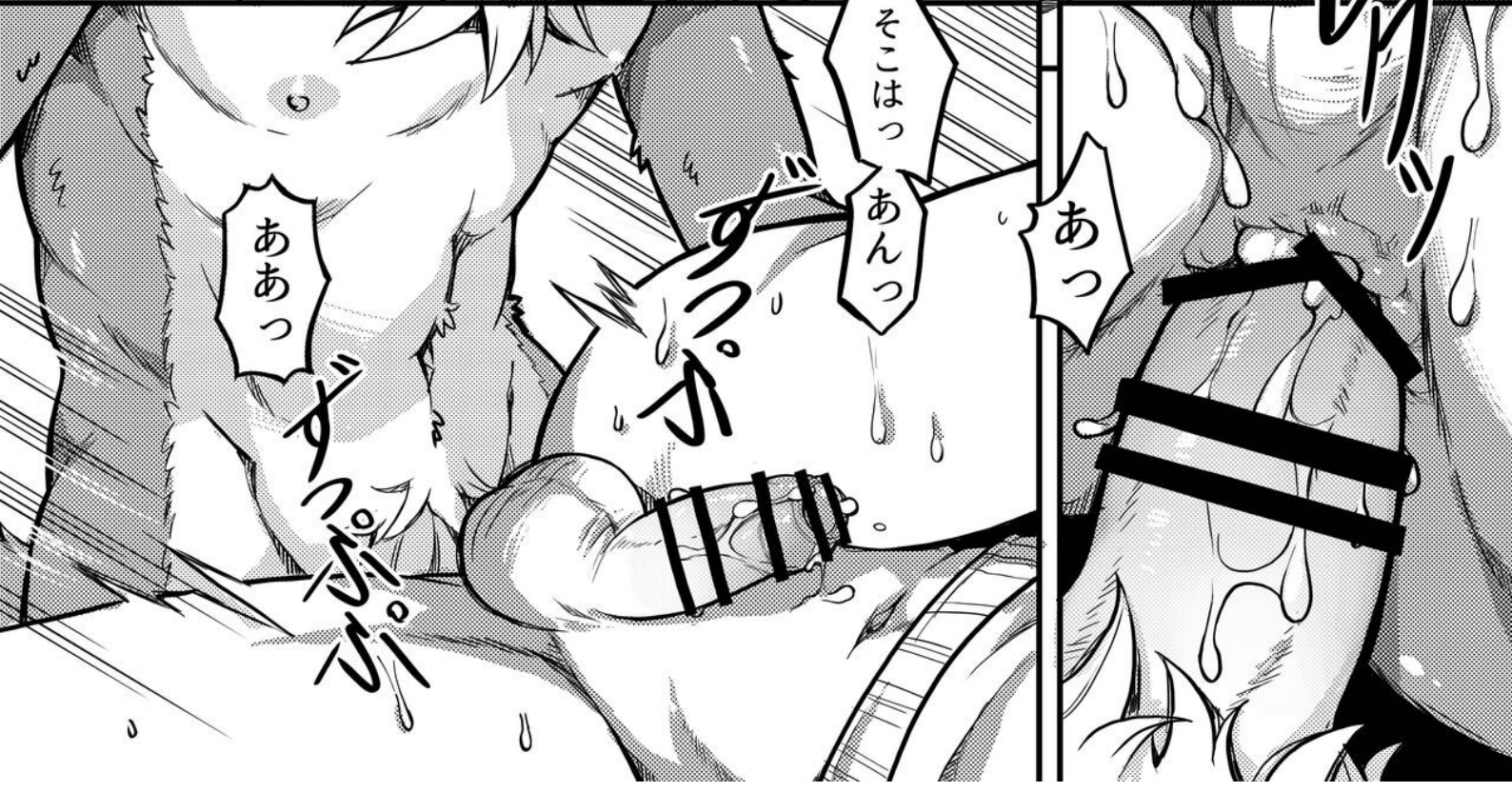
これは
スゲーな！

あっつ

ああ

んんっ

んんん
んんん
んんん



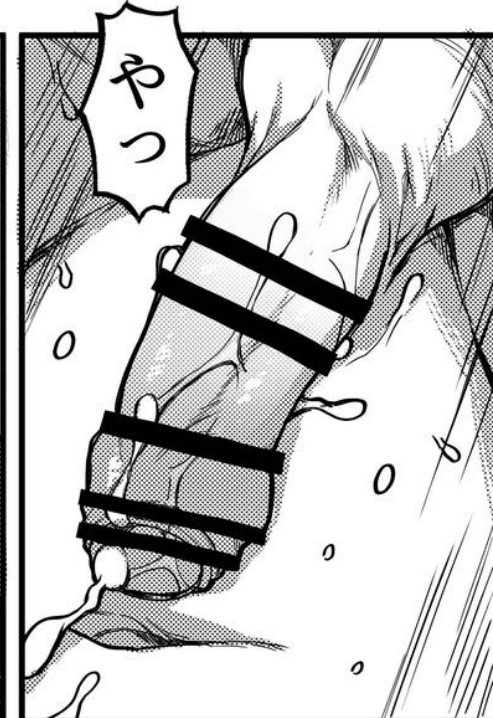
そこはっ

あんっ

あっ

ああっ

んんん
んんん
んんん







鹿くんが
人間になった!!





ぼく...
鹿になっちゃった!

ピー!

どうなってんの!?

ピー



俺に
ちようだい

ぬぎゃう

ピー!

ピッ



服なんか
もう必要ない
だろ?



えっと



スマホぐらい
ロックしないと
だめだろ
鹿目くん

おっ
残金余裕あるね
ラッキ〜

ピー
ピーツ

驚くのも
無理ないか

お前に
鹿化の呪いを
押し付けたから

それじゃ…

ピー

あばよ

ピー



呪い…
だって?!

なんとか
頑張りな
鹿目くん

しばらく
その姿なのは
しょうがない
けど

ぼくが
鹿になった…

こんなの
嫌だ!

誰か…ぼくを
助けて!





DAIKUNG talk

お手にとっていただきまして誠にありがとうございます!エンディングがちょっとトラウマになってごめんなさい。でも遠くない未来に、鹿目くんは無事自分の姿を取り戻すそうなので、皆さん安心して下さい。ストーリーのきっかけは去年の日本旅行ですね。奈良の鹿たちは噂通りでしたwwその印象でこの本を描きました。機会があったら、是非もう一度行きたいです!

ちなみに、鹿せんべいは草よりうまいと鹿目くんはそう思ったようです。